

2018年5月16日
日揮株式会社

2019年3月期決算説明会における質疑応答

※決算説明会開催日（2019年5月14日）時点の情報に基づく内容です。

1. 2019年3月期決算に関して

<p>2019年3月期の利益項目は、当初見通しを若干上回る着地となった。プラス要因とマイナス要因の両方の影響があったと思われるが、その入り繰りをご説明願いたい。</p>	<p>プラス要因は、ヤマル LNG プロジェクトの早期完工による売上高・利益の計上、ボーナスの獲得等の採算改善である。</p> <p>一方、マイナス要因は、①売上高減少に伴う利益減少、②クウェートの石油精製プロジェクトにおいて、2018年11月の豪雨の影響等によってスケジュールの遅れが生じ、追加コストを計上したこと、③イクシス LNG プロジェクトにおいて、建設中の複合発電設備費用の一部を追加費用として計上したこと、④国内で建設中の太陽光発電設備において、想定外の地盤状況が判明したことから工法を変更し追加コストを計上したこと、である。</p> <p>プラス要因、マイナス要因の具体的な金額の内訳については、非開示とさせていただきます。</p>
--	--

2. 2020年3月期以降の受注および業績見通しについて

<p>2020年3月期の受注目標額のうち、モザンビークのエリア4 LNG プロジェクトは受注を前提としているのか</p>	<p>2020年3月期は、少なくとも1件の LNG プロジェクト受注を見込んでいる。LNG 分野以外では、中東の石油精製プロジェクトの受注を期待している。</p> <p>入札予定の案件全ての金額を積み上げるとかなり大きな額になるが、各案件の状況を総合的に勘案し、海外オイル&ガス分野で6,000億円程度の受注を計画している。</p>
--	--

2020年3月期通期業績予想の粗利益率は、リスク要素を織り込んだものか？	2020年3月期は、蓋然性の低いリスク要素や上振れが期待できる要素もあるが、これらは現時点では数値化できる段階には至っていないため、織り込んでいない。
今後、売上高の水準が上がっていった場合、粗利益率は、どの程度になると考えたらいいか。	総合エンジニアリング事業におけるランプサム案件の受注時の粗利益率は、10%以上を目標としているという点は、これまででもご説明している通りである。うまく遂行できた案件やできなかった案件のミックスや売上原価の中の見積失注コスト等も含め、それらを勘案すると、粗利益率は8%から9%の水準は期待したい。
LNGカナダプロジェクトの来期(2021年3月期)以降の売上計上見通しについて教えて欲しい。	本プロジェクトでは、モジュール工法を採用し遂行していくが、モジュール工法は、資機材の調達とファブリケーションの工程が複雑であり、売上計上の前提となる原価発生タイミングの見通しが立て難い。2020年3月期は10%台の進捗(工事進行基準に基づく売上計上)となることを見込んでいるが、現時点では来期以降の明確な売上見通しを回答できる段階にはない。
2020年3月期業績予想において、機能材製造事業が増収減益見込みとなっているが、その理由について教えて欲しい。	現時点における個別見通し数値を積み上げ、やや保守的に予想した結果であり、特段状況が悪くなっているということはない。

3. その他

同業他社の業績が悪化し、新規案件の入札に慎重に対応せざるを得ない状況になっているが、当社にとって、より良い利益率で案件を受注できる環境にあるか。	そのようになっていくことを期待してはいるが、顧客の案件毎の予算制約もあるため、競争環境が良くなったからといって、必ずしも高い利益率で案件を受注できるというものでもない。
同業他社の業績悪化の影響として、プラス面、マイナス面があると思うが、それぞれどのような	マイナス面として、業界全体に対する信頼度の低下を懸念している。 プラス面として、顧客が信頼性の高いコントラクターをしっかりと確保しようとするス

<p>に見ているか。</p>	<p>タンスを示し始めていることがあげられる。</p>
<p>イクシス LNG プロジェクトにおける客先およびサブコンとの仲裁の状況に関し、アップデートをお願いしたい。</p>	<p>現時点で、特段の変化はなく、解決には 2 年から 3 年程度かかる見通しである。 なお、発電設備建設に関する立替は続いており、2019 年 3 月期第 4 四半期に 70 億円程度の追加立替費用を計上し、2020 年 3 月期（通期）にも立替費用が 50 億円から 60 億円程度増加する見込みである。</p>
<p>米中の貿易摩擦問題が当社に与える影響に関して、米国と関係の深いカナダにおいて、LNG プロジェクトを遂行しているが、何か懸念する影響はあるか？</p>	<p>現時点で特段懸念すべき影響はない。</p>